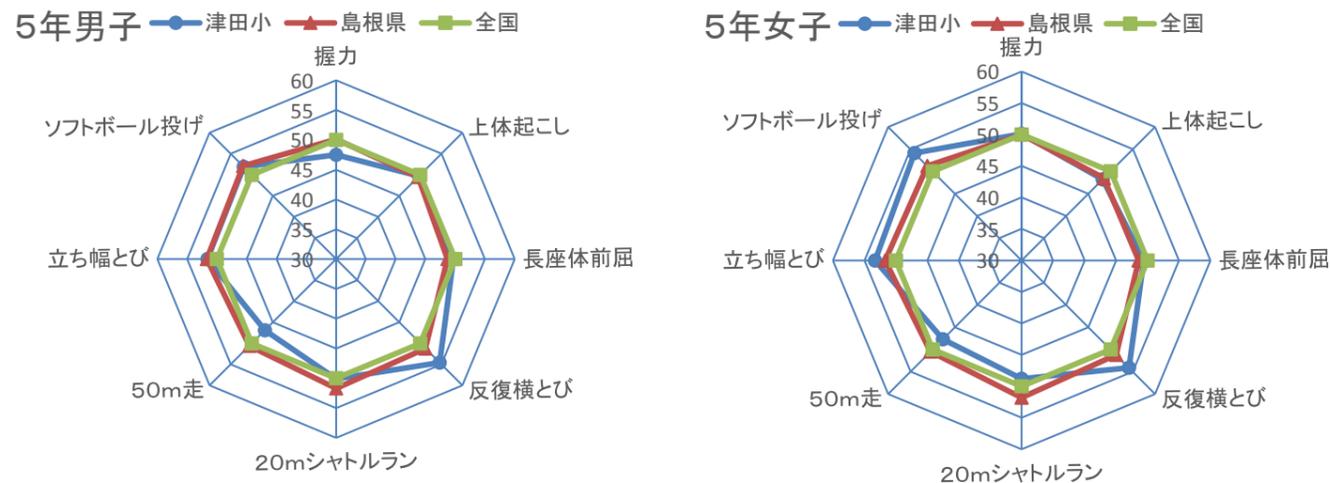


(1)児童の体力の現状

- 小5男子では、反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げで全国平均を上回る。
- 小5女子では、握力、反復横跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げで全国平均を上回る。
- 男子では、2, 5, 6年が反復横跳びで松江市平均を上回る記録を出すことができています。
- 女子では、2, 3, 5, 6年が反復横跳びで、3, 5, 6年が立ち幅跳びで松江市平均を上回る。

- 小5では、男女ともに、上体起こし、長座体前屈、50m走、で全国平均を下回っている。
- 男子では、全学年が握力50m走で松江市平均を下回っている。
- 女子では、全学年が50m走で松江市平均を下回っている。
- 小4では、男女ともに全種目で松江市平均を下回っている。

(4)5年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



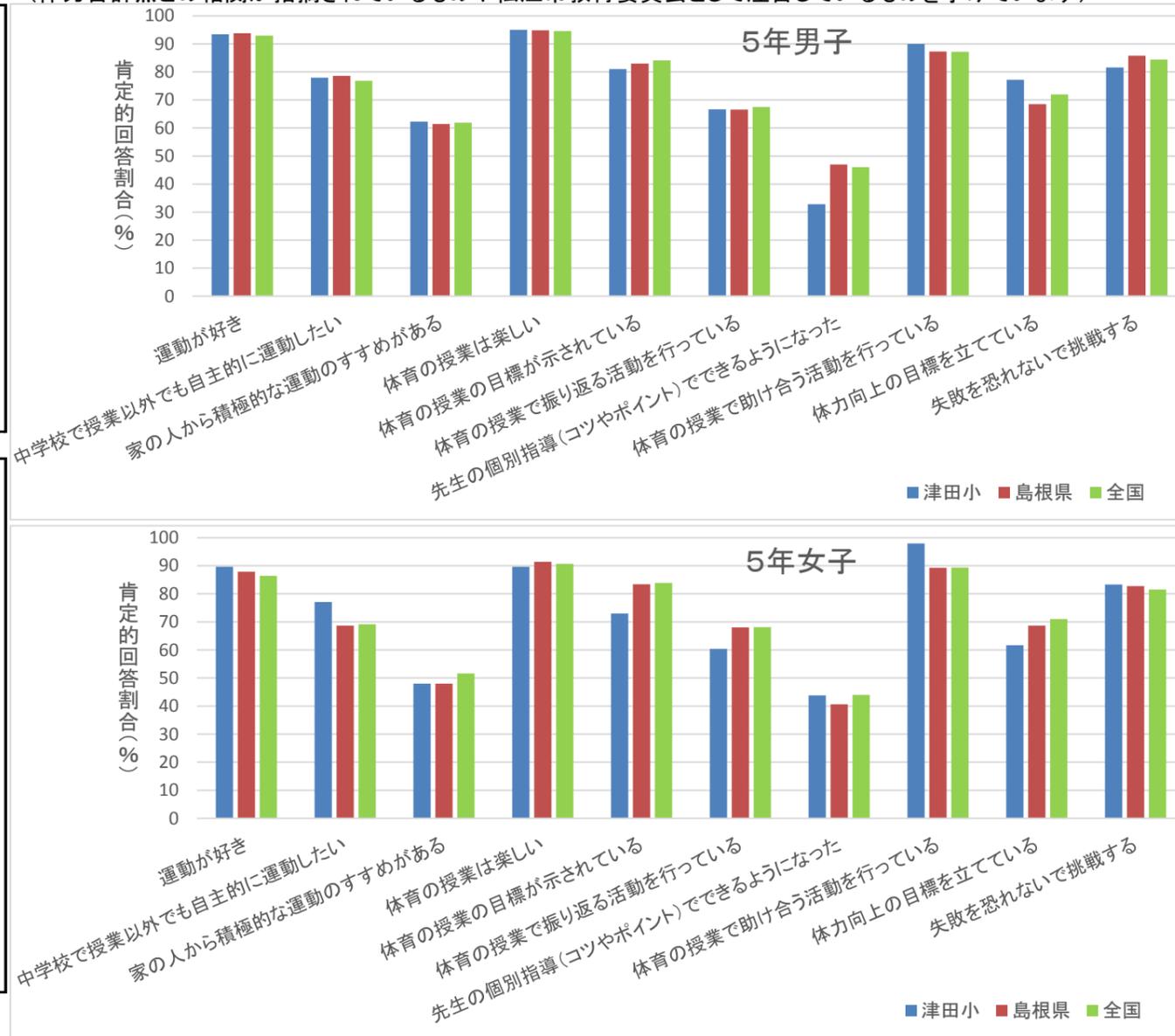
(2)30年度の具体目標の達成状況と課題

- 「小5の総合評価でC段階以上の割合75%以上」を目標に取り組み、達成(男子76.4%、女子84.1%)した。
- 意識調査では、運動が好き、中学校で授業以外でも自主的に運動したい、体育の授業で助け合う活動を行っているで、全国平均を上回る割合を示している。
- 運動量を確保しながら授業を進めることで、全国平均を下回っている種目でも、ポイント差が縮まってきた。

- 全学年で、握力、投力に加え、走力(50m走、シャトルラン)を高めていくことが必要である。
- 意識調査で「目標が示されている」、「振り返る活動を行っている」、「先生の個別指導でできるようになった」の項目が全国平均を下回っている。昨年度より肯定的回答割合は高くなったが、引き続き、授業改善が必要である。

(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 5年生意識調査の結果

(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(3)31年度の取組【対策】

①学校における取組

- ・総合評価でC段階以上の割合を75%以上にする。
- ・運動量を確保しながら、よりよい動きができるように、視点を与え、友達同士で教え合う授業を継続して行う。
- ・継続して5種目歩走を行い、腕支持力の育成を図る。
- ・握力や投運動は関連性があるため、登り棒や綱引き、ゲーム感覚での投運動、ジャベボール投げなどを積極的に授業の中に取り入れていく。特に低学年からの授業の充実を大切にしていく。
- ・握力、投力、走力で低中高の具体的な達成目標を設定して取り組む。

②地域や家庭との連携による取組

- ・自己の体力結果や生活習慣を意識化できる取組を継続する。

③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組

- ・生活習慣の確立、食育が推進されるように、学校から積極的に情報発信していく。

調査実施者数(人) 1年(男子61・女子59) 2年(男子61・女子68) 3年(男子54・女子51)
4年(男子51・女子64) 5年(男子60・女子47) 6年(男子65・女子49)